

# 小規模特認校制度の意義と課題

～「成功」の条件を考える～

久保富三夫 (和歌山大学名誉教授)

宇都宮市立城山西小学校



神戸市立藍那小学校



# 目次

1. 私と小規模特認校研究
2. 「小規模特認校」とは何か
3. その歴史と現況
4. 訪問した学校・地域と訪問時期
5. 教育的意義など
6. その実現のための要件
7. 小規模特認校制度の課題

# 1. 私と小規模特認校研究

和歌山大学教育学部勤務(2008<H20>~2014<H26>年度)

●契機:教育実習委員、教育実践総合センター長 へき地複式教育実習(2月中・下旬)

◎2013(H25)~2014(H26)年度

## ★「小規模特認校の教育的意義とその実現のための要件に関する研究」

(独立行政法人日本学術振興会、科学研究費・挑戦的萌芽研究)

・「小規模特認校」制度の先進事例に関する調査研究

(『和歌山大学教育学部教育実践総合センター紀要』第24号別冊、2015年3月、39~50頁)

・「小規模特認校」制度の教育的意義とその実現のための要件~「小規模特認校」調査から~

(日本教育経営学会第55回大会自由研究発表、2015年6月20日、東京大学)

・「小規模特認校制度の教育的意義とその実現のための要件に関する研究」

(『人間科学部研究年報』第17号、帝塚山学院大学、2015年、32~46頁)

・「小規模特認校の教育的意義とその実現のための要件に関する研究(そのⅡ)~地域住民の学校教育活動への参加と地域振興の視点から~」(『立命館教職教育研究』特別号、2016年2月、55~64頁)

◎2018(H30)年度~2022(R4)年度(コロナ禍により3年間の研究期間を2年延長)

## ★「小規模特認校における学校運営協議会設置の有効性に関する研究」(科研費・基盤研究(C))

・「子どもと地域が育つ小規模特認校」の研究(神戸大学学術成果リポジトリ)

2019年4月20日 日本教育学会近畿地区「小さな学校の研究」

・東北教育学会公開シンポジウム・報告「小規模特認校制度の可能性と課題を問う」2023年3月5日

・「全国小規模特認校一覧(暫定版)」 ・「小規模特認校で学んで、学ばせて」(卒業生、保護者の回想等)

## 2. 「小規模特認校」とは何か

(1) 特認校：5種類の学校選択制のうちの一つ。

(自由選択制、ブロック選択制、隣接校区選択制、**特認校制**、特定地域選択制)

従来の通学区域は残したままで、特定の学校について、当該市(区)町村内のどこからでも就学を認めるもの。

★1997(H9)年 文部省通知「通学区域制度の弾力的運用について」以降、学校選択制増大

★1997(H9)年 文部省編集「通学区域制度の運用に関する事例集」(その後、2000年、2002年)

★2015(H27)年 文科省「公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引

～少子化に対応した活力ある学校づくりに向けて～」36頁「いわゆる小規模特認校制度」

(2) 小規模：その規模に明確な基準はない。

久保は、小学校、中学校ともに、2010年度において在籍数240名以下の学校<当時の学級編制の標準である40名×6学級>を、**とりあえず**、「小規模校」とした。 **大きすぎる!**

(小学校25名×6学級=150名、中学校25名×3学級=75名、以下くらいが適切では?)

(3) 文部科学省はもちろん都道府県教育委員会においてもその所在が正確に把握されているわけではない。…同制度は法令に明定されたものではないから。 **鹿児島県のみ県教委HPに特認校一覧表あり。**

また、「小規模特認校」以外の呼称もある。「オープンスクール」(長岡市)、「自然いっぱいオープンすくうる」(秋田市)や「生き生き体験オープンスクール制度」(広島市)、「海っ子山っ子スクール～小規模特別転入学制度～」(福岡市)など。

(4) 教育委員会規則で制度規定

〇〇市小規模特認校指定実施要綱、〇〇市小規模特認校制度要綱など

### 3. その歴史と現況

(1) 歴史 1977(S52)年、札幌市において、「生徒数が減少して廃校の危機にあった札幌市郊外の山間部へき地小規模校の存続を願う地域住民や学校関係者の要望に応え、併せて、自然豊かな小規模校への通学を希望する市街地児童生徒(親)に応えるために、札幌市教育委員会が校区外通学と小規模性保持という特別な許可を与えて、盤溪、駒岡、有明の3小学校で始まった」(門脇2005:35-36)。盤溪・駒岡・有明から8年後、1985(S60)年度に福移小・中学校も小規模特認校に。なお、1979(S54)年度から室蘭市立喜門岱小学校でも小規模特認校制度が導入されている(門脇2017:18~19)。

その後、21世紀に入ってから、通学区域の弾力化の中で、小規模校を地域に存続させることを主たる目的として広がり、門脇正俊による2003(H15)年度の調査では26県・241校(小:216校、中:25校)において制度の導入が把握されている(門脇2005:41)。

- 門脇正俊「小規模特認校制度の意義、実施状況、課題」『北海道教育大学紀要(教育科学編)』第55巻第2号、2005年2月。  
「現地新聞報道などから考える小規模特認校制度の導入と展開」同前誌・第67巻第2号、2017年2月。



盤溪小



駒岡小



有明小

# 特認校のしおり



(2)現況 「全国小規模特認校一覧(暫定版)」(ご希望があれば進呈いたします)参照  
(漏れがあるので「暫定版」。最終調査は、2020年9~10月。最終修正は2020年12月31日)

◎2020(R2)年度の小規模特認校・・・557校(小学校 447校、中学校 110校)  
そのうちCS 209校(小163校、中46校)

※CS(コミュニティ・スクール):学校運営協議会設置校

義務教育学校前期課程15、後期課程18(前期・後期課程を各1校として計算)

◎毎年、小規模特認校は増加している

2010(H22)年度 小規模特認校 412校(小343校、中69校)

2020(R2)年度 557校(小447校、中110校)

145校増加 2010年度比 1.35倍

◎廃校・閉校になった学校も少なくはない

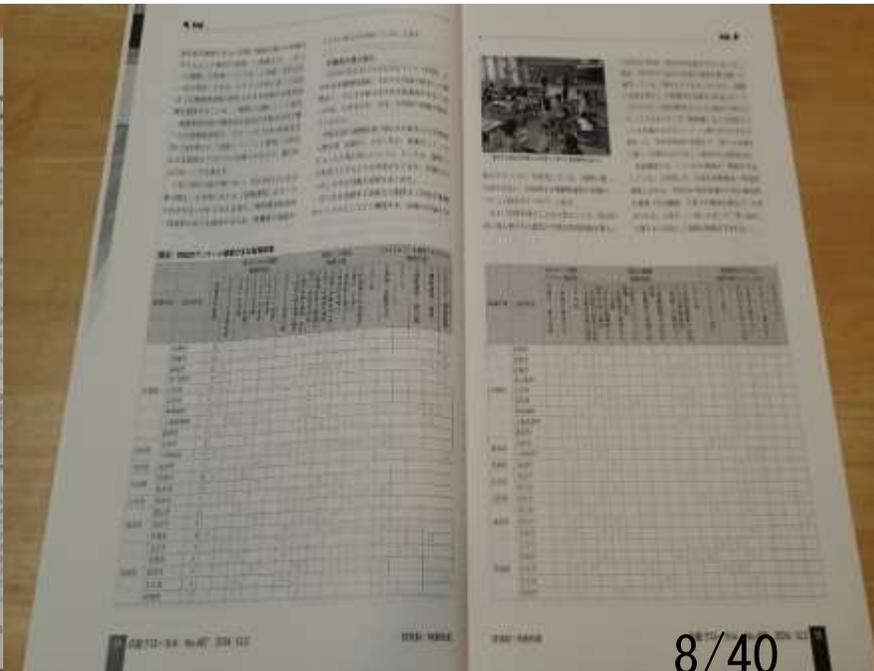
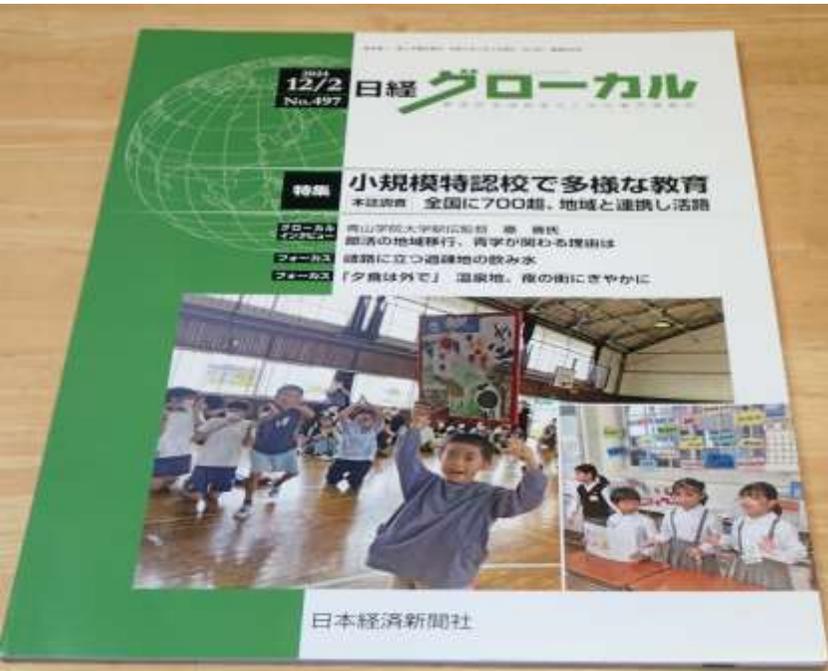
2010~2020年度 88校(小74校、中14校)

145校+88校=233校・・・2010~2020年度に新たに小規模特認校制度導入

# 【都道府県別特認校数】(2020年度)

- ①鹿児島県 105校(小89、中16)うち、義務教育学校後期課程Ⅰ CS17(小15、中2)  
「小規模校特別認可制度」開設校・・・県教委HPで掲載 他に、「山村留学募集一覧」
- ②北海道 53校(小43、中10)うち、義務教育学校後期課程Ⅰ CS26(小22、中4)
- ③栃木県 36校(小29、中7)うち、義務教育学校前期・後期課程各Ⅰ CS11(小11、中0)
- ④宮崎県 23校(小18、中5) CS13(小11、中2)
- ⑤福岡県 22校(小17、中5) CS10(小7、中3)

◎最新情報・・・「特集 小規模特認校で多様な教育 全国に700超、地域と連携し活路」  
(『日経グローバル』No.497、2024年12月2日) 山本啓一記者



(3) 9年間(2010~2018年度)の推移(児童・生徒在籍数の変遷)からわかること

◎2010(H22)年度と2018(H30)年度の在籍数が比較可能な学校 360校(小299、中61)

★360校に2010年度~2018年度に閉校・休校になった52校(小44校、中8校。2010年度校数の12.6%)を加えると412校 これを分母とする

(1) 過疎・少子化が激しい地域におけるこの事実は制度の有効性(在籍者数維持・増加)を示している。

①2018年度の在籍数が2010年度に比して増加している学校・・・130校/412校:31.6%

②2018年度の在籍数が2010年度に比して1.2倍以上に増加している学校・・・70校/412校:17.0%

③2018年度の在籍数が2010年度に比して同等以上の(減っていない)学校・・・141校/412校:34.2%

(2) 制度導入が直ちには在籍数の維持・増加に繋がらない厳しい現実を示している。

全国的には2018年度公立小・中学校在籍児童生徒数は、2010年度の約92%である。それを大きく下回って0.8倍未満(80%未満)に減少・・・当該地域の過疎化、学校の小規模化が激しく進行。

④2018年度の在籍数が2010年度に比して0.8倍未満に減少している学校(閉校・休校の52校も含む)・・・158校+52校/412校:51.0% (小137校+44校:52.8%、中21校+8校:42.0%)

(3) 制度導入により、児童生徒数を増加させ、地域に学校を存続させるためには幾つかの条件が必要。・・・その要件とは何か?

制度導入により地域に学校を存続させることは容易なことではない。門脇論文において、小規模特認校として把握されている241校(2003年度)のうち44校(18.3%、小38、中6)が2013年度までに閉校。

(4) 小規模特認校制度の導入に当たっては、当該校・地域が有する資源・条件について慎重な検討が必要である。

## 4. 訪問した学校・地域と訪問時期

(その1)

◎訪問校の偏り…近畿地方が中心(他には札幌、宇都宮、福岡、名護、うるま市)。成功事例が多い。

★札幌市立有明小学校(1977←特認校制度開始年度):2014年9月訪問(以下、同じ)(訪問時72名)  
20年度105名、21年度105名(特支なし)

★札幌市立駒岡小学校(1977):2014年9月(83名)  
20年度57名、21年度71名(特支なし)

★札幌市立盤溪小学校(1977):2014年9月(113名)  
20年度120名、21年度121名(特支なし)

★札幌市立福移小・中学校(1985):2014年9月(小97名、中59名)  
20年度小81、中46名、21年度78、44名(特支なし) 2023年度から義務教育学校(福移学園)

★宇都宮市立城山西小学校(2005):2014年4月(94名)、14年8月、18年7月、19年4月  
20年度105名、21年度107名

★宇都宮市立清原北小学校(2005):2014年8月(119名)、18年7月  
20年度122名、21年度118名(特支なし)

★近江八幡市立沖島小学校(2008):2014年9月(11名) 20年度12名、21年度11名

★甲賀市立鮎河小学校(2012):2014年7月(20名)・・・2017年度末で閉校

★甲賀市立甲南第三小学校(2012):2014年7月(49名) 20年度42名、21年度42名

★甲賀市立朝宮小学校(2012):2014年8月(31名) 20年度22名、21年度21名(特支なし)

## 4. 訪問した学校・地域と訪問時期

(その2)

- ★甲賀市立多羅尾小学校(2012):2014年8月(9名) 20年度7名、21年度8名
- ★大津市立葛川小・中学校(2018):2018年7月(小26、中12)、2019年3月  
CS(2017~) 20年度小24、中11名、21年度小24、中14名
- ★宇治市立笠取小学校(2001):2014年6月(18名)、18年8月  
20年度19名、21年度18名(特支なし)
- ★京田辺市立普賢寺小学校(2007):2016年2月(71名)、18年8月、19年3月、23年2月  
CS(2015~) 20年度85名、21年度111名(特支あり、特認児童は4名限定)
- ★高槻市立櫛田小学校(2003):2014年6月(52名)、18年8月 20年度51名、21年度54名
- ★泉南市立東小学校(2007):2013年11月(65名)、14年12月、18年8月、23年2月  
20年度84名、21年度94名(特支あり、4名限定)
- ★和泉市立南横山小学校(2006):2013年10月(86名)、14年6月、18年8月、19年2・3月、  
23年2月 20年度106名、21年度107名 2025年度から義務教育学校(槇尾学園)
- ★泉佐野市立大木小学校(2008):2014年7月(38名) 20年度49名、21年度48名  
(特支あり、4名限定)
- ★河内長野市立天見小学校(2000):2014年7月(62名)、18年8月 CS(2012~)  
20年度58名、21年度58名

## 4. 訪問した学校・地域と訪問時期

(その3)

- ★**柏原市立堅上小学校(2006)** : 2014年9月(84名) その後、頻繁に訪問 堅上幼も特認園。  
20年度71名、21年度66名
- ★**柏原市立堅上中学校(2007)** : 2014年9月(48名) その後、頻繁に訪問  
20年度39名、21年度38名(特支なし)
- ★**和歌山市立加太小学校(2022)** : 2021年11月(制度導入前:53名) 22年8月
- ★**三田市立母子小学校(2012)** …2014年6月(9名)  
20年度12名、21年度12名(特支なし)
- ★**神戸市立六甲山小学校(2002)** : 2014年6月(46名)、14年7月、18年8月  
20年度63名、21年度63名
- ★**神戸市立藍那小学校(2012)** : 2014年6月(24名)、18年12月、19年1・3・9月、22年6月、  
20年度40名、21年度41名
- ★**西脇市立双葉小学校(2007)** : 2014年6月(25名)、18年8月  
20年度31名、21年度34名
- ★**養父市立建屋小学校(2018)** : 2019年1月(45名)、22年10月  
CS(2019~) 20年度45名、21年度43名

## 4. 訪問した学校・地域と訪問時期

(その4-①)

- ★福岡市立能古小学校(2005) : 2014年9月(70名) 19年度から小中一貫教育校に 23年度(117名)  
20年度121名、21年度115名
- ★福岡市立能古中学校(2005) : 2014年9月(53名) 19年度から小中一貫教育校に 23年度(53名)  
20年度58名、21年度57名
- ★福岡市立勝馬小学校(2005) : 2014年9月(26名)  
20年度39名、21年度40名(特支なし)
- ★うるま市立彩橋小学校(2012) : 2014年12月(104名)  
20年度102名、21年度107名
- ★うるま市立彩橋中学校(2012) : 2014年12月(73名) 20年度35名、21年度46名
- ★名護市立久志小・中学校<緑風学園>(2012) : 2014年11月(小90名、中63名)、18年12月、  
19年2月、20年2月、20年11月、21年11月、23年2月 CS(2018~)  
20年度小115、中63名、21年度115、62名
- ★名護市立屋我地小・中学校<屋我地ひるぎ学園>(2016) : 2018年12月(小89名、中38名)  
19年7月、20年1月 CS(2018~) 20年度小118、中44名、21年度121、44名

◎姫路市立苅野(あぞの)小学校(2023年度~特認制度) 22年度25名 23年度45名(特認15名)  
制度導入前から導入準備に関わる貴重な経験 21年10・11月、22年11・12月

# 姫路市立苧野小学校

(その4-②)

## 2021年度

	児童数	学級数	クラスサイズ
全体	36人	5学級	
通常学級	35人	4学級	8.8人
特別支援学級	1人	1学級	
1年生	3人	1学級	3.0人
2年生	6人	1学級	6.0人
3年生	9人	0.5学級	18.0人
4年生	5人	0.5学級	10.0人
5年生	4人	0.5学級	8.0人
6年生	8人	0.5学級	16.0人

## 2022年度

	児童数	学級数	クラスサイズ
全体	27人	5学級	
通常学級	26人	4学級	6.5人
特別支援学級	1人	1学級	
1年生	3人	0.5学級	6.0人
2年生	3人	0.5学級	6.0人
3年生	4人	0.5学級	8.0人
4年生	8人	0.5学級	16.0人
5年生	4人	1学級	4.0人
6年生	4人	1学級	4.0人

## 2023年度 (小規模特認校)

	児童数	学級数	クラスサイズ
全体	45人	7学級	
通常学級	43人	6学級	7.2人
特別支援学級	2人	1学級	
1年生	10人	1学級	10.0人
2年生	4人	1学級	4.0人
3年生	5人	1学級	5.0人
4年生	9人	1学級	9.0人
5年生	8人	1学級	8.0人
6年生	7人	1学級	7.0人

## 5. 教育的意義など

(その1)

(1) 小規模校が廃校にならずに地域に存続することにより、小規模校・少人数学級（多くが定員20名以内）での豊かな学びの機会を校区の子どもたちに保障できる。

校長の話：1学級15名程度の人数が学力保障と集団生活の面での支持高い。

★神戸市立藍那小学校…定員10名

★神戸市立六甲山小学校、高槻市立檜田小学校、…12名

★泉佐野市立大木小学校…16名 ★京田辺市立普賢寺小学校…17名

★札幌市立有明小学校…18名

★宇都宮市立城山西・清原北小学校、和泉市立南横山小学校、

札幌市立盤溪・駒岡・福移小学校 …20名

●名護市立緑風（小・中）、屋我地ひるぎ学園（小・中）…30名

●泉佐野市立佐野台、第三小学校…35名

(2) 極小規模校あるいは極小規模化しつつある学校に特認児童生徒が入学・転入学することにより、小規模校・少人数学級でありながら、かつ集団としての「最低規模」を確保することができる。

複式学級編制が解消され、学年単級編制が可能になる(複式の場合でも、各学年の人数が数名となる)。

ただし、複式学級を単純に否定的に見ることは避けたい。高い教育力を発揮することあり。

(福岡:勝馬小、甲賀:多羅尾小、宇治:笠取小)

和歌山・弘前・金沢・広島大学等の附属小:「人工」複式学級

(3) 学校を舞台とした地域住民・保護者相互の交流の場が確保される。運動会や学芸会などの学校行事や農業体験を始めとした様々な体験活動、教育活動の企画・実行通じた地域住民・保護者の協働の場としての学校が確保される。

令和7年度 第1学年

# 児童募集

和歌山大学教育学部附属小学校

<p>1 募集児童数</p> <p>■ 単式学級 男子 30人 女子 30人 ▶ 60人</p> <p>■ 複式学級 男子 4人 女子 4人 ▶ 8人</p>	<p>2 応募資格</p> <p>1) 令和7年4月に小学校へ入学する児童。 (平成30年4月2日から令和5年(平成37年)4月1日までに生まれた者)</p> <p>2) 令和7年4月1日出席、指定された通学区域内(和歌山市・海南市・紀の川市・岩出市・海南市・神町)に保護者と共に居住し、常に保護者のもとから登下校できる児童。 なお、指定された通学区域で和歌山市以外の市町は、徒歩・公共交通機関を利用して1時間以内に通学可能であること。</p>	<p>4 入学選考</p> <p>1) 入学選考Ⅰ(調査・行動観察・面接) 令和6年12月13日 ※志願者数等により、12月13日、12月14日の2日間になる場合もあります。</p> <p>2) 入学選考Ⅱ(抽選):入学選考Ⅰを通過した者 令和7年1月7日</p>
<p>3 出願手続</p> <p>1) 要項交付 令和6年9月2日(月)から11月8日(土)14:30まで ■本校事務室にて平日9:00~16:00(土・日・祝日を除く) ■本校ホームページ上よりダウンロード</p> <p>2) 説明会 令和6年11月8日(土) ■14:30~16:30(受付14:00~14:30) ・説明会に出席しないと出願することができません。</p> <p>3) 願書受付:郵送にて受け付けます 令和6年11月11日(月)~11月22日(水) [22日16:00必着] ※ただし、最終日の19:00~16:00の間、本校事務室への持込込み可</p>	<p>5 保護者出訪:入学選考Ⅱを通過した者 令和7年1月8日</p> <p>6 新入児童保護委員会 令和7年2月5日</p>	

本校HPでも入学選考情報を公開しています。

和歌山大学教育学部附属小学校

TEL 073-422-8106 FAX 073-422-8107

(4) 制度の存続・発展 (魅力ある学校づくり) のために教育課程内外における地域資源 (人、自然、歴史、芸能・文化、工芸・産業) の活用をめざした教職員と地域住民の目的意識的・継続的な共同の取り組みにより、豊かな教育活動を創り出すことである。それは児童生徒の豊かな学びと成長につながる。

- ★小規模でかつ自然・歴史・文化的環境が豊かであっても、制度を導入していない場合には、資源の活用と学校の存続とは直結しないので、地域住民がその活用、学校教育への反映を追求し続けることにはなりにくい。
- ★それに対して、地域住民からの要求により制度を導入している学校では、まず、導入に至る過程で地域住民による「〇〇学校の将来を考える会」等が結成され、廃校の危機を回避したり複式学級を解消するための方策が検討される。その運動の中で「地域の学校」「自分たちの学校」意識がさらに強化される。特認制度を導入することについての住民の意見調整 (全戸対象のアンケート調査)、意思統一 (会合での協議や署名活動) も必要である。それを経て、教育委員会への要請等が行われる。
- ★そして、制度発足後は、特認制度利用者を増加させるために魅力ある教育課程・教育活動の創出が求められ、それを担う地域ぐるみの高度の取り組みが必要となる (地域住民が持続的にできることは何か)。
- ★それができない場合には (地域住民の全面的協力を得られない教育活動では)、小規模特認校制度導入により一時的には児童生徒数が増加しても、それを中長期にわたって持続することは困難である。

(5) 大規模校では「不適應」を起こしていた子ども、あるいは生き生きとした学校生活を送ることができていなかった(あるいは、そう思われる)子どもが、特認制度を利用することによって自己肯定観を高め、学力を向上させ、人間的にも成長を遂げた事実がたくさん存在する。そして、特認制度を利用した保護者の成長の事実も見られる。 **久保編「小規模特認校に学んで、学ばせて」参照**

(6) 特認制度利用者が増加する一方で、本来の校区の児童生徒が増加しなければ、やがてほとんどすべての児童生徒が校区外から通学する事態が起こる。そうならないように、また、地域おこしのためにも移住促進などに取り組むが、その際にも、学校、とくに小学校がその地域に存在することは重要な条件となる。

■2014年度在籍者数中の特認制度利用者

札幌市立福移小：94/97 有明小：68/72 駒岡小：76/83 盤溪小：102/113 宇都宮市立城山西小：61/93  
高槻市立榎田小：41/52 和泉市立南横山小：41/71 河内長野市立天見小：49/62 柏原市立堅上小：47/85  
泉佐野市立大木小：21/38 神戸市立藍那小：21/24

■2022年度在籍者数中の特認制度利用者

京田辺市立普賢寺小：76/114 泉南市立東小：79/89 和泉市立南横山小：約80/99 神戸市立藍那小：40/41  
西脇市立双葉小：16/40 養父市立建屋小：14/40 宇治市立笠取小：17/18

# 6. その実現のための要件

(その1)

(1) 立地する環境 (同一市町内の他地域との差異が顕著なこと。自然環境・景観・人口密度・学校学級規模)



札幌市立福移小・中



宇都宮市立城山西小



大津市立葛川小・中



高槻市立樫田小



神戸市立藍那小



河内長野市立天見小



福岡市立勝馬小



福岡市立能古小・中

(2) 人口規模による適切な特認校数と配置 (市街地・密集地との位置関係) **小学校のみの数**

札幌市:人口197万人・4校、福岡市:163万人・2校(他に休校1校)、神戸市:人口151万人・2校、  
宇都宮市:人口51万人・2校、高槻市:35万人・1校、大津市:34万人・1校、長岡市:26万人・1校、  
和泉市:18万人・1校、宇治市:18万人・1校、河内長野市:10万人・1校、泉佐野市:10万人・3校、  
甲賀市:9万人・3校、うるま市:13万人・1校、名護市:6万人・2校、塩竈市:2.7万・1校、養父市:2万9千1校

(3) 通学手段 (公共交通機関、スクールバス、コミュニティバスなど) と補助制度 スクールバス: 定員の制約条件

保護者による送迎のみ: 宇都宮市立城山西小、清原北小、三田市立母子小、姫路市立筋野小 (2023年度から)

河内長野市立天見小 (南海電鉄高野線天見駅)



神戸市立藍那小 (神戸電鉄粟生線藍那駅)



泉佐野市立大木小 (南海バス犬鳴線)



和泉市立南横山小 (スクールバス)



泉南市立東小 (コミュニティバス)



## (4) 転入学の可否

学年限定(2年生のみ、2年生から4年生のみ、など)の有無

## (5) 中学校選択の可否 (居住地の中学校のみ or 選択可能)

## (6) 1学級の児童生徒数(多くが20名まで) 「30人、35人だと、特認制度導入の意味がなくなる」

2020(令和2)年度、全国の公立小学校の平均学級人数(同一学年の児童で編制される単式学級)27.5人。  
同様に、公立中学校の平均学級人数は31.9人。

★宇治市立笠取小…定員4名(複式学級が前提)

★神戸市立藍那小…10名 ★神戸市立六甲山小、高槻市立檜田小…12名 ★和歌山市立加太小…15名

★泉佐野市立大木小…16名 ★京田辺市立普賢寺小…17名 ★札幌市立有明小…18名

★札幌市立盤溪小、駒岡小、福移小、宇都宮市立城山西小、清原北小、和泉市立南横山小、泉南市立東小、  
河内長野市立天見小、柏原市立堅上小…20名

●名護市立緑風学園(小・中)、屋我地ひるぎ学園(小・中)、うるま市立彩橋小中学校…30名

緑風学園と屋我地ひるぎ学園の学校運営協議会は、名護市教育委員会教育長あてに定員切り下げ要望書を提出。教育長から文書回答。

●泉佐野市立佐野台小、第三小…35名

# (7) 地域の資源(自然、歴史、伝統、人間など)をフルに活用した教育課程内外の (その4-①) 魅力ある教育活動の策定とその実践(地域住民と教職員の共同作業)

札幌市立盤溪小



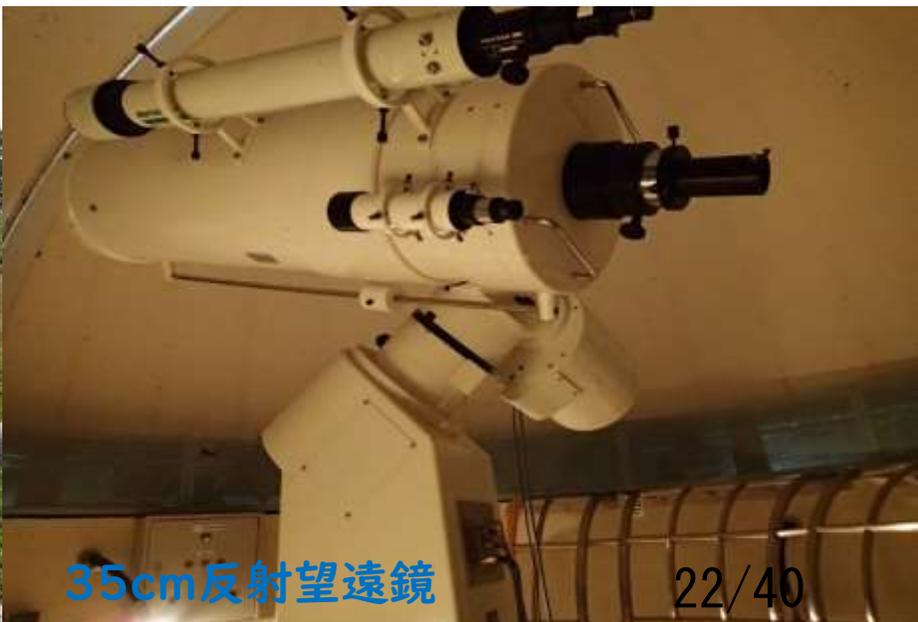
札幌市立駒岡小



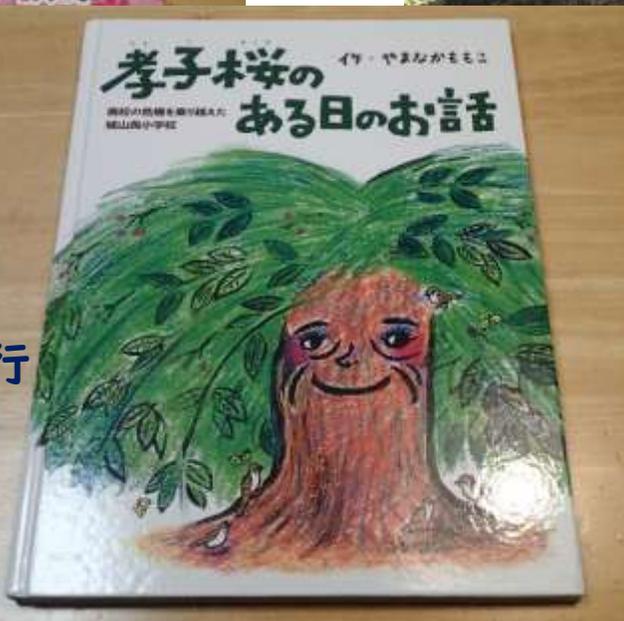
札幌市立有明小



札幌市立福移小・中



# 宇都宮市立城山西小



2006年発行

2015年発行



## カタクリの群落



和泉市立南横山小(大阪府)



学校林の入り口



(その4-③)

「何としていかに焼けはか和泉なるよこ山すみの白く見ゆらん」(藤原光俊・新撰六帖)

甲賀市立多羅尾小(滋賀県) 2022年度の「ごんぎつね」はHPで視聴可



販売商品

○囲みは、地域住民参画活動

和泉市立南横山小学校 （ノカは地域住民参画活動）

平成30年度 年間行事

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学校行事	入学式 <small>参観・参画・PTA参画 ノーカバンデー</small>	家庭訪問 R480リフレッシュ 大公開 お話の会 <b>玉ねぎ収穫</b>	学校林整備 <b>ホテル観真会</b> <b>いちご狩り</b> 大公開 交通安全教室 <b>ジャガイモ収穫</b>	大公開 七夕集會 <small>道徳訓練 アップリナー</small> <b>観真会 道歌練習</b> 納涼大会 水泳・一輪車	水泳指導 水泳記録会 <small>(中北)</small> PTA行事 <small>(キョウゴ)</small> 大公開	夏休み作品展 避難訓練 <small>(中北)</small> 科学展 敬老会 運動会	学校林整備 大公開 陸上競技会 学校見学会・参観 お話の会 横尾っ子まつり	職場体験 通合音楽会 和泉市絵画展 大公開 ノーカバンデー 就学時健診	原木伐採 マラソン大会 懇談会 <b>大根収穫</b>	<b>七草がゆ</b> 書き初め展 大公開 <b>炭焼き</b>	参観・懇談 スキー教室 入学説明会 炭販売	お別れ会 卒業式
1年	入学式 対面式 給食開始 ノーカバンデー <b>トウモロコシ</b>	ヤゴとり	春の遠足 <small>(サーカス)</small>	古屋さん体験入学 <b>川遊び</b>		<b>大根たねまき</b>	<small>体育学習(わんぱく空 演)</small> ミルク体験 <b>青梗菜植え</b>	校区探検 <small>(父鬼)</small> <b>みかん狩り</b> <b>香梗菜収穫</b> 絵画展に向けて	マラソン大会 ハワイコンサート 南横フェス		<b>もちつき</b>	お別れ会 <small>入学式のお迎え会の練習</small>
2年	入学式 <small>(お迎え会)</small> <b>トウモロコシ</b> ノーカバンデー	苗買い <small>(はなのも)</small> ヤゴとり	春の遠足 <small>(サーカス)</small> 寺田さん体験入学	<b>川遊び</b>		<b>スイーツデコ</b> <small>体育学習(わんぱく空 演)</small>	<b>みかん狩り</b> 絵画展に向けて	マラソン大会 ハワイコンサート 南横フェス		<b>もちつき</b>	お別れ会 <small>入学式のお迎え会の練習</small>	
3年	<small>キョウゴキョウワの練習</small> <b>キュウリ</b> ノーカバンデー	校区巡り <small>(父鬼・犬野)</small> ヤゴとり	春の遠足 <small>(サーカス)</small> かみかみセンサー	社会見学 <small>(市内めぐり)</small> 手紙教室		<b>スイーツデコ</b> <small>体育学習(わんぱく空 演)</small>	<small>みかん狩り・工場見学</small> 和気小との交流 市内めぐり <small>(和気小、ららぽ)</small> 絵画展に向けて	マラソン大会 わた体験授業 <b>みかんジャムづくり</b>		<b>もちつき</b>	クラブ見学 社会見学 <small>(市内めぐり)</small> お別れ会	
4年	<b>たけのこ掘り</b> へちま植え ノーカバンデー	スポーツテスト	社会見学 春の遠足 <small>(サーカス)</small> タオル巻	<b>笹踊りの話(山本さん)</b>		<b>笹踊り練習</b>	星空観察会 消防クラブ見学 <b>笹踊り衣装合わせ</b> 生活体験発表会 横尾っ子まつり	連合音楽会 <b>ぞうり作り</b> <b>おふれあいまつり</b> 社会見学 <small>(大和川)</small> へちま収穫・絵画展に向け	マラソン大会 消防クラブ見学 <b>たくあん漬け</b> 夜警	<b>七草とり</b> 出初式	社会見学 <small>(閑空)</small> お別れ会 卒業式	
5年	飯盒炊飯練習 ノーカバンデー <b>たけのこ掘り</b>	スポーツテスト 全国体力調査 プール清掃	春の遠足 <small>(サーカス)</small> タオル巻 田植え			<b>大根たねまき</b>	福列り 生活体験発表会	連合音楽会 非行防止教室 愛彩ランド 絵画展に向けて	マラソン大会 消防クラブ見学 <b>たくあん漬け</b> 夜警	<b>七草とり</b> <b>七草がゆ</b> 出初式	スキー教室 お別れ会 卒業式	
6年	対面式 <small>(お別れ会)</small> 全国学テ 飯盒炊飯練習 ノーカバンデー	平和学習 <small>(お別れ会)</small> <b>参観み、お茶づくり</b> スポーツテスト プール清掃	棒字旅行 <b>参観み、お茶づくり</b>	非行防止教室 平和集會	子ども議會		横山小と合同練習 陸上競技会 生活体験発表会 横中合唱コンクール	職場体験 連合音楽会 こころの劇場 絵画展に向けて	<b>炭焼きの話(山本)</b> 職場体験報告会 マラソン大会 <b>炭焼き</b>	<b>七草とり</b> 久保惣見学 <b>炭焼き</b> 横中体験入学 <b>炭焼き</b>	スキー教室 税の出前授業 炭販売 お別れ会 卒業式	

(5)

# 近江八幡市立沖島小(滋賀県)



(その4-⑤)

# 福岡市立勝馬小



# 神戸市立藍那小



# 畑で野菜を育てて 食べよう

17品目栽培計画 藍那小学校

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
全学年												
1・2年												
3・4年												
5年												
6年												

● 植え付け時期 ● 収穫時期 (再作は行わない)



旧嘉陽小学校跡  
美ら島財団



4小・1中統合により緑風学園開設  
(2012年度)



NPO法人久志地域観光交流協会



大浦マングローブロード



## (8) 学校教育活動を支援する多層な住民組織と自律的学校運営協議会

(や学校地域協議会等)

★宇都宮市立城山西：魅力ある学校づくり地域協議会、PTA、城山西小と地域振興を考える会、カタクリの会、古桜会、古賀志の孝子桜愛護会

★神戸市立藍那：まりの会      姫路市立筋野：学校地域協議会      名護市立緑風学園：学校運営協議会、緑風ファミリーネット

## (9) 不登校傾向の子どもや発達特性の強い子どもの受け入れについての地域住民・保護者・教職員の合意と力量形成

## (10) 放課後活動組織 (城山西：こがし桜スクール、清原北：KASA、樫田：かしんこクラブ、など)



こがし桜スクール



# (11) 広報活動の方法 (チラシ、ポスター、ホタル・星空観察会や祭りなどの諸行事、見学会、説明会) と

## その担い手 (教職員、地域住民、保護者、児童生徒)

城山西:古賀志の孝子桜まつり(2019年4月、第17回)、

藍那:うどんまつり(2019年7月、第11回)、苧野(あぞの):春・夏のあざみの里ひろば(2022年5・8月、第1回)

### 古賀志の孝子桜まつり(城山西小)



### 夏のあざみの里ひろば(苧野小)



2023年4月からの制度導入のために地域・PTAあけて活発な活動展開



# あぞのまるしえ & オープンスクール (2024年度)

(その6-③)

わくわく秋のイベントだよりの  
あぞのまるしえ

11月16日(土) 12:00~15:30ごろ  
 蒔野小学校 運動場 (雨天時は体育館)

兵庫県警察音楽隊のみなさんによるOpeningステージ  
 ワークショップ 音楽 かわいいお店 ステキなど..  
 あぞの小学校のみりやく紹介ブース

オープニング 兵庫県警察音楽隊による演奏



子どもたち  
おいでー

主催

アクセスマップ



## じかんわり

	8:40	10:30	11:30 12:00	15:30
ばしよ	こうしゃ・たいいくかん		うんどうじょう	
ないよう	あそのっこ まつり	授業 体験	あそのまるしえ ステージ	

あぞのしょうは ノーチャイムで行動します

### あそのっこまつり (オープンスクール)

全校生が4つの縦割り班に分かれてそれぞれの班がお店の企画から準備そして当日の運営まで、全て子どもたちの手ですすめてお店を出します。

蒔野っ子たちのやさしさあふれるお店がです。

子どもたちが考えた「楽しさ」を味わってくださいね

(自由見学・自由体験)

お問い合わせ: 蒔野小学校 (079-336-0604)

### あそのまるしえ & ステージ & たのしいあそび

おいしいお店

OBA ちゃんち 静かな向かい屋 駄菓子やあそびー 多可だんご ひびき福祉会 姫シビエ まがりや

ショップ ANGEL EGG COCO BEAUTY  
Shino ゆきんこ フリマ

ワークショップ 佐(たすく)工務店

パトカー白バイ試乗体験

あその音楽隊 たかや  
なんちゃん 兵庫県警察音楽隊  
かんごふん たいいくかん

たのしい遊びコーナー

「藍那小学校の将来を考える」委員会と「まりの会」(特認校支援会) 神戸市立藍那小



### 藍那小学校を知らず!!

#### 里山散策 (校下の名所めぐり) MAP

藍那小学校校下の里山めぐり 主催: まりの会 育友会  
平成23年7月2日(土) 藍那小学校 13時出発  
コース: 藍那小学校→毘沙門さん→八王子宮→大中寺→釈迦堂→国営公園→藍那小学校 (所要時間 およそ1.5時間)

(ご注意)  
 ○当イベントのコースは途上に急な坂や階段を含んでいます。事故やケガの無いよう十分にご注意ください。  
 ○イベント参加中に生じた参加者の事故やケガ、または参加者が他に与えた損害については主催者は一切その責を負いません。万一、事故等が生じた場合の費用については、参加者の負担となります。  
 ○団体行動をとりまします。他の参加者のご迷惑となるような行動はご遠慮ください。  
 ○別行動をとられた場合はイベント参加に関係のない方とさせていただきます。趣旨をご理解いただきご参加ください。  
 ○ガクコ等の火の始末は確実に120番(緊急番)は必ず持って帰りましょう。  
 ○交通ルールを守り、道路横断時は車に十分注意してください。  
 ○係員の指示、注意事項は必ず守ってください。

藍那小学校を知らず!! 次回イベント予告  
 ～藍那うどんまつり開催～  
 イベント日時: 平成23年7月24日(日)  
 (受付開始: 9時より) イベントは12時30分～13時30分まで  
 集合場所: 藍那小学校グラウンド  
 内容: 藍那うどんまつり (手打ちうどん体験) (工場時間: およそ1時間) (工場時間: およそ1時間)

初年恒例の「藍那うどんまつり」をご案内いたします。親子に負けず、おいし～いうどんをみんなで楽しみましょう!!

### 藍那小学校を知らず!!

毎年恒例の暑気払い!!

#### ～うどんまつりの開催について～

毎年恒例の行事となりました「うどんまつり」を今年も開催いたします。藍那小学校は平成24年度から校区外の児童も通学可能な小規模特認校となり、現在は全校生38名で藍那小河地域の特色を活かした学校生活を送っています。より大勢の方にこの藍那小学校を知っていただくこと、交流の場として「うどんまつり」を開催しています。ぜひ、ご参加ください!!

日時: 平成27年7月19日(日)  
 受付開始: 9時30分より  
 イベントは10時～12時30分まで

場所: 藍那小学校グラウンド (アクセスマップをご覧ください)

内容: うどんまつり (手打ちうどん体験) (工場時間: およそ1時間)

参加料: うどん1杯あたり100円 申し込み不要!

どなたでもご参加いただけます。

主催: 神戸市立まりの会 まりの会  
 藍那小学校 小河地区 藍那小学校 育友会  
 藍那小学校 小規模特認校  
 TEL: 080-4010-7810  
 E-mail: blue@bluecove.jp  
<http://bluecove.jp>

子供たちの夢をつなぐ 創立150周年の城山西小学校  
 小規模特認校20周年 学校存続への感謝を込めて

城山西小の「古」と「未来」を見守り続ける孝子桜。

# 古賀志の孝子桜まつり

2025年  
 3/29 SAT 3/30 SUN  
 OPEN 9:00~16:00

23rd  
 FUKUSHIMA SINGASHI  
 KOSHU SAKURA  
 FESTIVAL

古賀志山と孝子桜に見守られた気球に乗れる城山西小学校 学校見学随時募集

宇都宮市立城山西小学校校庭・体育館・学校周辺

3月29日 10:30~11:30 式典・児童による記念演奏  
 3月29日・30日 9:00~16:00 学校紹介・イベント・売店・農産物販売

\*桜まつり開催日以外の校庭入場は児童の安全確保のためご遠慮願います。

お問い合わせ  
 電話 090-8819-2439

主催 古賀志の孝子桜まつり実行委員会  
<http://www.unis.ed.jp/school/sroyama-w/>

後援 宇都宮市・宇都宮市教育委員会・宇都宮市文化協会・宇都宮市文化財ボランティア協会・  
 城山地区コミュニティ協議会・城山地区青少年自治会・城山地区活力ある村づくり推進協議会



# 2025年 古賀志の孝子桜まつり (その6-⑤)

3/29  
 土  
 OPEN 9:00~16:00

オープニングセレモニー  
 開会式 10:30~  
 ● 箏演奏(和久先生と西小の子供たち)  
 ● 新入生並びに転入生紹介  
 ● 新中学一年生紹介  
 民話語り(校庭)



3/30  
 日  
 OPEN 9:00~16:00

催し物  
 演劇 劇団古賀志のこ(体育館)  
 よさこい、和太鼓(校庭)



【売店】 腹も、心も、満腹・満開  
 (開店時間:午前9時~売り切れまで)

地域の農産物直売  
 (野菜・果物・穀物)

- 手打ちそば ● 焼きそば
- 飲み物 ● 駄菓子 ● おみくじ
- ステンシルアート ● 水風船
- オリジナルグッズ販売

新鮮・おいしい地域食材!!



お花もあります

各種販売は、品物がなくなり次第、終了です。あしからず。

\*イベントや販売品目などの内容は、変更となる場合がありますので、当日、会場にてご確認ください。



「孝子桜」を大切にしてください。

- ※会場内は禁酒・禁煙です。
- ※ペットを連れてのご入場はご遠慮ください。
- ※ゴミの分別にご協力ください。
- ※車でお越しの際は、交通ルールを守り、駐車係員の指示にご協力ください。

「古賀志の里」めぐり  
 地域の名所・旧跡・「孝子桜の子どもたち」をめぐる春のハイキング。ガイドとともに是非ご覧ください。

## (12) 保護者の学校づくりへの参加と校区・特認保護者の交流・協働

## (13) 校区への移住者促進 (魅力ある学校づくり⇒児童生徒の全員が特認制度利用者の可能性)

★宇都宮市立城山西:NPO法人「自然大好きe-街づくり」

⇒こがし桜村(学校付近に29区画の分譲地⇒完売⇒住宅) 新たに4区画開発計画(2019年訪問時)

★高槻市立榎田:高槻市榎田地区空き家情報バンク制度

古賀志さくら村(宇都宮市立城山西小)



## (その7-②)

### 榎田地区空き家情報バンク制度



補助金:45歳未満世帯は50万円  
45歳以上は25万円

少子高齢化等の進展で、地域活力の低下やコミュニティの存続があやぶまれる**高槻市榎田地区**の地域活性化を図るため、空き家等を地域資源として活用し、子育て世代をはじめとした多くの移住者の誘致・定住を促す「**榎田地区空き家情報バンク制度**」を創設しました。

この制度は、榎田地区にある空き家や建築可能な土地等の賃貸または売却を希望する「所有者」と榎田地区に定住を希望する「移住希望者」をマッチングできるよう、高槻市が空き家等の情報登録し、市ホームページ、大阪ふるさと暮らし情報センター等のポータルサイト及びパンフレット等で広く公開して、市内外からの移住希望者を募集するものです。

地元の榎田地区連合自治会では、地区住民が定住促進員となり、現地案内や、榎田での生活やコミュニティ活動、文化、習慣、地域情報などを移住希望者へ紹介するとともに、定住に関する多様な相談にも応じるなどサポートを行います。

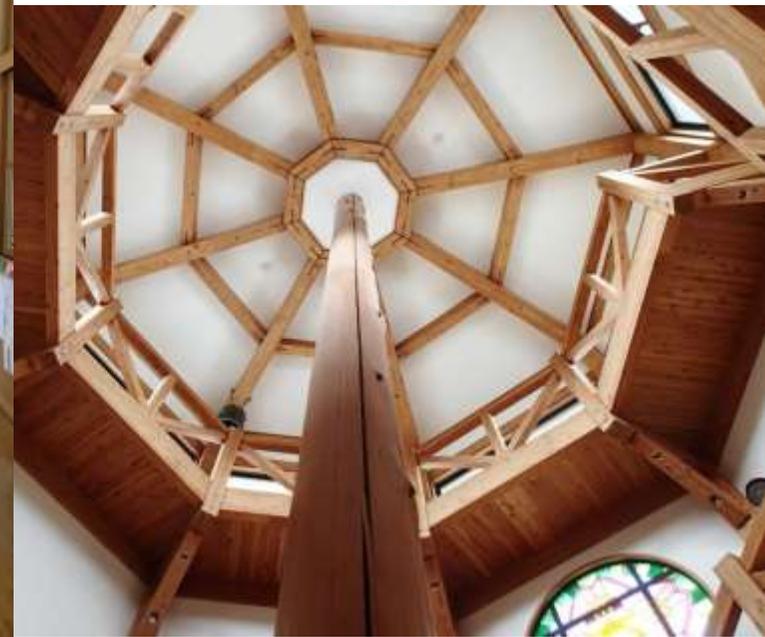
なお、この制度は単なる不動産のマッチングではなく、移住者を受け入れる榎田地区住民と、これから榎田地区で新たに生活し始める移住者が、お互いに理解し合い共感した生活が営まれる環境を大切にしていますので、登録物件の契約に至るまでの間に、移住希望者は、定住促進員、所有者が参加する「地域面談」を受け、その結果に従う必要があります。

一方、所有者については、高槻市と「榎田地区空き家情報バンク制度に関する協定」を結ぶ宅建協会に物件の契約手続き等を依頼することができます。

この制度で賃貸借または売買契約が成立し、空き家等の改修等が必要な場合、「**高槻市榎田地区空き家再生事業補助金**」が利用できます。

# (14) 学校建築などの魅力

泉佐野市立大木小 (大阪府)



(その8-①)

甲賀市立多羅尾小 (滋賀県)



神戸市立藍那小



近江八幡市立沖島小(滋賀県)



三田市立母子(もうし)小(兵庫県) (その8-②)



泉南市立東小(大阪府)



養父市立建屋小(兵庫県)



名護市立緑風学園(久志小・中)



# 7. 小規模特認校制度の課題

(その1)

## (1) 小規模特認校選択の機会均等性、階層性 ← 学校選択制

★希望する者すべてが応募・就学できるのか？(定員による制約はやむを得ないが)…経済的文化的階層性  
・制度の存在の把握(教育情報入手能力) ・通学費負担 ・送迎の負担 ・学校づくり(PTA活動等)参加

## (2) 通学費補助その他就学支援や教育条件・環境整備の適否、妥当性、公平性 ← 学校選択制

★特認制度利用の保護者一般に対する補助の当否

★制度利用者の中の就学援助制度適用者に対する補助の当否

通学費補助：京田辺市立普賢寺小、和泉市立南横山小、泉南市立東小、甲賀・南さつま・養父市

## (3) 教育課程・教育内容の妥当性、「偏向」の恐れは？← 学校選択制

◎校区の子どもは学校を選択できない

★スポーツ、特定の競技に特化した教育活動や特定内容(英語・ICTなど)の学習偏重の恐れはないのか？  
とくに市街地・住宅地(高齢化)における小規模特認校

## (4) 特別支援学級(特認制度利用者のための)設置の問題

★支援学級を必要とする児童生徒の受け入れ

- ①受け入れない。
- ②支援学級を必要とする児童生徒が校区に不在の場合は設置せず：多数？
- ③人数制限(特認制度利用者の場合)を設けて受け入れる。
- ④人数制限なし。

(5) 受け入れ学年：入学のみか転入学も認めるのか？ 学年制限？

受け入れの意義と否定的側面

(6) 中学校への接続問題…特認校(小学校)の校区の中学校への進学が可能か否か？

(7) 特認制度利用者の増大(校区の子どもの稀少化)と学校存続の意義

★校区への移住者を増やすなど、地域振興の課題。校区の児童生徒が限りなくゼロに近づいていく可能性。

■2014年度在籍者数中の特認制度利用者

札幌市立福移小：94/97 有明小：68/72 駒岡小：76/83 盤溪小：102/113

宇都宮市立城山西小：61/93 高槻市立檜田小：41/52 和泉市立南横山小：41/71

河内長野市立天見小：49/62 柏原市立堅上小：47/85 泉佐野市立大木小：21/38

神戸市立藍那小：21/24

■2022年度在籍者数中の特認制度利用者

宇治市立笠取小：17/18 京田立普賢寺小：76/114 泉南市立東小：79/89

和泉市立南横山小：約80/99 神戸市立藍那小：40/41

(8) 保護者(特認制度利用)の意識…学校づくりの主体か単なる制度利用者か？

「参加強調」と「階層性の強化」

(9) 教職員の負担増大をどう防ぐか

…土・日の活動。日常の勤務の負担感は？ 授業準備や休憩時間の確保？

## (10) 「課題」というよりも「**学校選択制**」の宿命？

(その3)

…校区からの児童・生徒の**流出**による学級編制規模への影響

とくに、学級編制標準・基準をやや上回る学年児童・生徒数(予定)の学校の場合 ⇒**教育条件低下の恐れ**

## (11) 定員(学級編制人数)の問題…一部に見られる30人、35人などの大人数化 「小規模」…学校規模および学級規模

## (12) 制度導入の妥当性(条件)

…**資源・条件不在の制度導入は住民・教職員に「徒労」を強いる恐れ**

★導入・支援主体(地域住民の熱意・運動の存否・強度、特認利用の子ども・保護者への理解)

★立地条件(自然環境、大規模過密校の存否、人口と校数、配置、交通機関、地域の歴史・文化・産業・人資源)

★教育行政による財政的支援の有無

## (13) 何をもって「小規模特認校制度の成果・成功」というのか？

児童・生徒数の現状維持・増加、小規模校の存続、複式学級解消、複式学級の充実、豊かな教育課程の実現、子どもの居場所・成長、地域住民の協働性強化、学校づくりへの参加、移住者等の増加、子育て共同体づくり

**「子どもの最善の利益」への接近**

ご清聴 ありがとうございます